



駒本の力

駒本小学校（家）

教育活動紹介便り

NO. 25

平成28年4月28日

土曜授業公開、一年生を迎える会

校長 田中 克昌



4月23日には、第一回目の土曜授業公開を行いました。ご参観いただいた保護者等の総数は340名と、本当にたくさんの皆様にご来校いただき、一年生を迎える会や各クラスの授業を観ていただくことができました。文京区の小学校では、教育委員会の指示で全校が年間6回の土曜授業公開を実施しています。そしてその全てを保護者や地域に公開することになっています。回数につ

いては、多いのではというお声もたまにお聞きすることがありますが、駒本小としては、それぞれの土曜授業公開において、一年生を迎える会、セーフティー教室、教科公開講座、道徳授業公開講座、六年生を送る会と特色をもたせて実施しています。

「一年生を迎える会」というのは、学校における4月の恒例行事で、全校児童で一年生の入学を祝い、みんなで迎え入れる大切な会です。6年生のお兄さんお姉さんのエスコートで、花のアーチをくぐった子どもたちは、体育館前方のひな壇に並び、一年生一人一人がマイクを使わず、しっかりとした声で自己紹介をしました。児童代表の歓迎の挨拶や、2年生からの金メダルのプレゼント、代表委員会児童による駒本小〇×クイズなどがあり、一年生の合唱や手話付きビリーブの全校合唱、校歌で会を閉じました。さらに、3・4時間目には、各クラスの子どもたちの学習の様子を観ていただくことができました。今後とも、土曜授業公開でのご参観よろしく願いいたします。

今回の土曜授業公開における1年生の保護者の方の感想を紹介します。「一年生を迎える会では、上級生の優しさが感じられ、入学式同様手話付きの歌のプレゼントは感動いたしました。1年生も皆、元気に自己紹介できていて、まだたった2週間の小学校生活なのに、早々に成長した姿を見られた気がいたします。」「迎える会の一人ずつの名前を発表する場面では、立派な姿を観られて嬉しかったです。今後たくさんある土曜公開で、少しずつ成長していく息子の姿を観るのがとても楽しみです。」「今回、初めての公開授業ということで、家族全員で拝見させていただきました。子どもたちが生き生きと、集中して授業を受けている姿を観ることができ、日頃の様子を知ることができるよい機会になりました。」

「ビリーブ」という歌にみる「力」

1. たとえば君が 傷ついて
くじけそうに なった時は
かならずぼくが そばにいて
ささえてあげるよ その肩を
世界中の 希望のせて
この地球は まわってる
いま未来の 扉を開けるとき
悲しみや 苦しみが
いつの日か 喜びに変わるだろう
アイ ビリーブ イン フューチャー
信じてる
2. もしも誰かが 君のそばで
泣き出しそうに なった時は
だまって腕を とりながら
いっしょに歩いて くれるよね
世界中の やさしさで
この地球を つつみたい
いま素直な 気持ちになれるなら
憧れや 愛しさが
大空に はじけて耀（ひか）るだろう
アイ ビリーブ イン フューチャー
信じてる
いま未来の 扉を開けるとき
アイ ビリーブ イン フューチャー
信じてる

今年から、杉本竜一さん【作詞・作曲】によるビリーブという歌を手話を付けて、いろいろな式や会で全校で合唱しています。小学校では、定番の歌であり、多くの学校が様々な会で、このビリーブを取り上げて合唱しています。その詩を改めて、読み返すと本当に素敵な詩です。この歌詞に手話を付けると、子どもたちの心がこもりさらに素敵な表現になります。そして、一年生を迎える会でも行ったのですが、ここにも、駒本の力を見ることができました。それは、伴奏をしてくれた6年生の女の子の努力です。当初、伴奏は教員がとを考えていたのですが、ある6年生の女の子が自分に担当させてほしいと申し出たそうです。練習を始めた頃は、なかなか上手く弾くことができなかつたそうですが、家庭やピアノ教室での練習を増やし、毎日2時間以上練習したそうです。先日、校長室に来てビリーブの伴奏をさせてくださいと頼みに来ました。6年生として一年生を迎える会において、自分たちが積極的に関わっていこうとする姿に感動しました。

この6年生の女の子の行動は、一つの例であり、代表委員会を中心に、在校生が一つになって、入学してきた一年生をやさしく迎え入れようとする、駒本の愛と力を大いに感じました。

縦割り班給食を行いました。

26日に縦割り班給食を行いました。駒本小では、この縦割り班活動を特色ある教育活動として位置づけ、年間を通して様々な活動を行っています。今回の縦割り班給食は、縦割り班を編制してすぐの活動で、メンバー同士の親睦を深めるために実施しました。縦割り班清掃、5月の全校遠足と活動がつながっていきます。